

『7日でマスターするハングル文字の基礎』

目次

楽しく簡単にハングル文字をマスターしましょう。	2 p
第一章 母音	6 p
第二章 子音	20 p
第三章 パッチム	29P
第四章 合成母音	41 p
第五章 濃子音	49P
第六章 文章を読んでいく為に	53 p
第七章 韓国語の文章を読みましょう	68 p
付録1 子音の名称	70 p
付録2 かなのハングル文字	71 p

— 楽しく簡単にハングル文字をマスターしましょう。 —

この教材の目的は、まったくの韓国語初心者の方でも短期間の中にどのようなハングル文字でも読めて発音できるようになる事はもちろんですが、これから先、韓国語の勉強を続けていく為のしっかりとした基礎を作ることが大きな目的です。

もちろん、まったくの初心者ではなく、ハングル文字の読み書きの学習を一通り勉強された方にとっても、ハングル文字の構成と発音をもう一度別の視点から、より現実的で、より実践的に、そしてより深く理解するためにご利用することができます。

最近では、韓流ブームという流れの中、隣国である韓国についての理解を深めたいという人が比較的に増えてきました。そして、同時に韓国語を勉強してみたいという方も増えてきています。

しかしながら、日本ではすでにポピュラーな外国語である英語のアルファベットと比較すると、韓国語の文字、“ハングル”は、どうしても○や□のようなものが重なった難しいイメージが付きまどってしまい、勉強を始めるための入口がとても狭くなっているのが現実です。

この教材、『7日でマスターするハングル文字の基礎』は、韓国語をゼロから勉強したいと思っている初心者の方が、韓国語教室に通ったり、家庭教師に見てもらうことなく、自宅で手軽に、そして本格的に勉強することができるように意図され、特にDVD教材とテキスト教材を利用して、視覚と聴覚の両方から効率的に学習できるようになっております。

又、教材を進めていく上で、ご質問に関してましては3年間の購入者メールサポートを利用することができます。

皆様が、『7日でマスターするハングル文字の基礎』でしっかりした基礎を学び、韓国語学習の本当の楽しさを実感していただける事を、私たちは心から願っております。

—効果的に学習する為に—

必ず、メイン DVD 教材とテキスト教材をワンセットにしてお進みください。

各章の学習を進めるときは、まずテキスト教材に目を通してからメイン DVD 教材の各章に目を通す、といったやり方で進めてください。

(勿論、逆でもかまいませんが、先にテキスト教材に目を通してある程度の知識の予習を済ませてから DVD 教材を見た方がより効果的です。)

そして、各章の理解を十分に深めるまでは、次の章には進まないようにしてください。

DVD 教材だけを見る、または逆に、テキスト教材のみに目を通す、といった進め方は効果が半減します。

必ず、セットにして理解を深めていく様にしてください。

発音に関して

発音は 最初から完璧におぼえようと努力しないこと。

しかし、できる限りまねをする。

発音をまねする、『発音ごっこ』をしているつもりで進んでください。

一番の問題は、神経質になって完璧な発音を身につけようとする態度です。

大雑把でいいのでよく似た音に近づけば、OK、ぐらいの気持ちで挑みましょう。

それが 外国語習得のコツです。

【メールサポートの利用方法について】

教材の購入者様は、『購入者サポートページ』をご利用することができます。

－購入者メールサポート URL－

<http://www.kkgmaster.com/support/member.html>

サイトへのアクセス用 ID とパスワードは、商品配送時に皆様にお送りしたメールにてご案内しておりますのでご確認ください。

質問は、購入者サポートページ内の『メール質問サポート』よりお送りください。原則として、ご質問を頂いてから 48 時間以内（2 営業日）に皆様ご指定のメールアドレスへ返信させていただきます。

—ハングル文字を勉強しましょう—

ハングル文字は、1446年、李氏朝鮮の世宗大王によって『訓民正音』として公布されました。

韓国は、日本と同じ中国文化圏にあり、当時の公式文書には漢字が使用されていました。

しかしながら、漢字を使用して韓国語を表記することは一部の知識層を除いた一般民衆にとっては、それはそれは難しく大変な事でした。

そこで世宗大王が、簡単な文字を使用し、一般の庶民レベルでも韓国語を読み書きする方法はないのかと考えるようになりました。そして発案されたのがハングル文字なのです。

要は、ハングル文字は、いかに簡単に、おぼえやすく、そして合理的に表記するかを追求した文字なのです。

ですから、難しいはずはないのです。

見た目は難しそうに見えるハングル文字ですが、構成される基本的な原理が分れば、3日あれば大まかな理解が得られ、1週間もあれば、ほとんど、すべての文字の組み合わせを発音することができます。

この『訓民正音』は、その原理や理論が非常に合理的で、世界中の言語学者の間でも高く評価されているほか、1997年 ユネスコの“世界記録遺産”にも選定されています。

それでは、進んでいきましょう。

第1章

母音について

いきなりですが、下記はハングルの基本音節表になります。

『DVD No1-01 のチャプター2 “第1章母音”』

	ㄱ	ㄴ	ㄷ	ㄹ	ㅁ	ㅂ	ㅅ	ㅇ	ㅈ	ㅊ	ㅋ	ㅌ	ㅍ	ㅎ
아	가	나	다	라	마	바	사	아	자	차	카	타	파	하
야	갸	냐	댜	랴	먜	뵤	샤	야	쟈	챤	캬	탤	푼	햤
어	거	너	더	러	머	버	서	어	저	처	커	터	퍼	허
여	겨	냐	뎨	려	며	뵤	셔	여	져	쳐	켜	터	퍼	혀
오	고	노	도	로	모	보	소	오	조	초	코	토	포	호
요	교	뇨	됴	료	묘	뵤	쇼	요	죤	초	쿄	툼	푼	효
우	구	누	두	루	무	부	수	우	주	추	쿠	투	푸	후
유	규	뉴	듀	류	뮤	뷰	슈	유	쥬	츬	큐	튜	푼	휴
으	그	느	뜨	르	므	브	스	으	즈	츠	크	트	프	흐
이	기	니	디	리	미	비	시	이	지	치	키	티	피	히

このテキストでこれから勉強していこうと思っておられる皆様は、この音節表を見ても当然、何が書いてあるのか、さっぱりわからないはずですよ。

しかし、このテキストをゆっくり、そして、その日その日に習ったことを確実に頭の中に入れていけば、どんなハングル文字でも簡単に読めるようになります。一緒にがんばりましょう。

それでは、今のところまったく訳がわからないハングル文字の構成を深く理解する為に、すこし遠回りになりますが、私たちが小学校で初めて習った日本語の 50 音の表を思い出してください。

韓国語を勉強するのに、なぜ今更 50 音なのかと思われるかもしれません。

しかし、ハングルを理解するためには、日本語の 50 音の構成を理解することが、実はとても大きなヒントになりますし、近道になります。

下の表は、私たちが普段、普通に使用している日本語の 50 音の表のひらがな表記になります。

	か行	さ行	た行	な行	は行	ま行	や行	ら行	わ行	ん
あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	
い	き	し	ち	に	ひ	み	い	り	ゐ	
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	ゆ	る	う	
え	け	せ	て	ね	へ	め	え	れ	ゑ	
お	こ	そ	と	の	ほ	も	よ	ろ	を	

そして、このひらがなの 50 音表をすべて、ローマ字に変換したのが、下記になります。

	K	S	T	N	H	M	Y	R	W	N
a	Ka	Sa	Ta	Na	Ha	Ma	Ya	Ra	Wa	
i	Ki	Si	Ti	Ni	Hi	Mi	Yi	Ri	Wi	
u	Ku	Su	Tu	Nu	Hu	Mu	Yu	Ru	Wu	
e	Ke	Se	Te	Ne	He	Me	Ye	Re	We	
o	Ko	So	To	No	Ho	Mo	Yo	Ro	Wo	

ひらがなの構成

日本語を母国語としている人にとって、“あいうえお”で始まる 50 音は 特に意識をしなくても頭の中にしっかり入っていますので、それぞれの一つ一つの音の構成がどのようになっているのか？などと言うことは、普段はもちろんまったく意識していません。

しかし、先程も述べました様に、ハングル文字の構成を理解する為の一番の近道は、実は日本語の 50 音表の構成がどのようになっているのかをしっかりと理解することなのです。

それは、一体どういうことなのでしょう？

例えば、前のページに出てきたローマ字で表記された 50 音表をよく見てみましょう。

カ行にある

か (Ka)

を例にとって解説しましょう。

か という文字は、表の一番上段左にローマ字で表記された音の、

K

そして、

表の左列の一番上のローマ字

a

が合体して、初めて

Ka = か

と発音される訳です。

	K	S	T	N	H	M	Y	R	W	N
a	Ka	Sa	Ta	Na	Ha	Ma	Ya	Ra	Wa	
i	Ki	Si	Ti	Ni	Hi	Mi	Yi	Ri	Wi	
u	Ku	Su	Tu	Nu	Hu	Mu	Yu	Ru	Wu	
e	Ke	Se	Te	Ne	He	Me	Ye	Re	We	
o	Ka	So	To	No	Ho	Mo	Yo	Ro	Wo	

か = K + a = Ka

それでは、か 以外の文字をもう一つ見てみましょう。

例えば、

ふ (Hu)

ふ は 表の上段部分の

H

に

左の列の部分の

u

が組み合わされて

Hu

ふ = H+u = Hu

となっている訳です。

	K	S	T	N	H	M	Y	R	W	N
A	Ka	Sa	Ta	Na	Ha	Ma	Ya	Ra	Wa	
I	Ki	Si	Ti	Ni	Hi	Mi	Yi	Ri	Wi	
U	Ku	Su	Tu	Nu	Hu	Mu	Yu	Ru	Wu	
E	Ke	Se	Te	Ne	He	Me	Ye	Re	We	
O	Ko	So	To	No	Ho	Mo	Yo	Ro	Wo	

さて、ポイントは何でしょうか？

一番大切なポイントは、

表の上段のローマ字部分と、

左端の列のローマ字部分の

音を

組み合わせる

事で、一つの独立した音ができる。

というポイントです。

但し、例外がありまして、**A,I,U,E,O** / あ,い,う,え,お(表の左端)の5つの音に関しては、他の音と組み合わせなくても、単独で音を出す事ができます。

	K	S	T	N	H	M	Y	R	W	N
A	Ka	Sa	Ta	Na	Ha	Ma	Ya	Ra	Wa	
I	Ki	Si	Ti	Ni	Hi	Mi	Yi	Ri	Wi	
U	Ku	Su	Tu	Nu	Hu	Mu	Yu	Ru	Wu	
E	Ke	Se	Te	Ne	He	Me	Ye	Re	We	
O	Ko	So	To	No	Ho	Mo	Yo	Ro	Wo	



ここの列の5つは、他と組み合わせなくても、単独で音を作れる。

表の一番左端の列は、子音と組み合わせなくても、それだけで単独で音を作れるので

母音 (ボイン) と呼ばれています。

これは、母親は大人なので、一人で立つことができるのに似ています。

母なる音とおぼえましょう。

そして、表の一番上の行は、単独では音を作れず、必ず母音の助けを借りて、初めて音を作ることができるので、

子音 (シイン) と呼ばれています。

これは、小さな子供は、母親の助けがなければ立てないのと似ています。

子供の音です。

日本語の50音の構成がよく理解できれば、同じ要領で以下の韓国語のハングル音節表を見ていきましょう。

	ㄱ (G)	ㄴ (N)	ㄷ (D)	ㄹ (R)	ㅁ (M)	ㅂ (B)	ㅅ (S)	ㅈ (J)	ㅊ (CH)	ㅋ (K)	ㅌ (T)	ㅍ (P)	ㅎ (H)
아 (a)	가 Ga	나 Na	다 Da	라 Ra	마 Ma	바 Ba	사 Sa	자 Ja	차 Cha	카 Ka	타 Ta	파 Pa	하 Ha
야 (ya)	가 Gya	냐 Nya	댜 Dya	랴 Rya	먀 Mya	뵤 Bya	샤 Sya	쟈 Jya	챤 Chya	캬 Kya	탤 Tya	퍄 Pya	햤 Hya
어 (eo)	거 Geo	너 Neo	더 Deo	러 Reo	머 Meo	버 Beo	서 Seo	저 Jeo	처 Cheo	커 Keo	터 Teo	퍼 Peo	허 Heo
여 (yeo)	겨 Gyeo	녀 Nyeo	뎌 Dyeo	랴 Ryeo	먀 Myeo	뵤 Byeo	샤 Syeo	쟈 Jyeo	챤 Chyeo	캬 Kyeo	탤 Tyeo	퍄 Pyeo	햤 Hyeo
오 (o)	고 Go	노 No	도 Do	로 Ro	모 Mo	보 Bo	소 So	조 Jo	초 Cho	코 Ko	토 To	포 Po	호 Ho
요 (yo)	교 Gyo	뇨 No	뎬 Dyo	료 Ryo	묘 Myo	뵤 Byo	쇼 Syo	쥬 Jyo	쵸 Chyo	쿄 Kyo	튜 Tyo	퍄 Pyo	햤 Hyo
우 (u)	구 Gu	누 Nu	두 Du	루 Ru	무 Mu	부 Bu	수 Su	주 Ju	추 Chu	쿠 Ku	투 Tu	푸 Pu	후 Hu
유 (yu)	규 Gyu	뉴 Nyu	듀 Dyu	류 Ryu	묘 Myu	뵤 Byu	슈 Syu	쥬 Jyu	쵸 Chyu	쿄 Kyu	튜 Tyu	퍄 Pyu	햤 Hyu
으 (eu)	그 Geu	느 Neu	드 Deu	르 Reu	므 Meu	브 Beu	스 Seu	즈 Jeu	즈 Cheu	크 Keu	트 Teu	프 Peu	흐 Heu
이 (i)	기 Gi	니 Ni	디 Di	리 Ri	미 Mi	비 Bi	시 Si	지 Ji	치 Chi	키 Ki	티 Ti	피 Pi	히 Hi

日本語の50音と同じように、韓国語も母音と子音がそれぞれあって、その読み方のローマ字表記が決まっています。

そして、母音と子音を組み合わせて、文字と音を作ります。

	ㄱ (G)	ㄴ (N)	ㄷ (D)	ㄹ (R)	ㅁ (M)	ㅂ (B)	ㅅ (S)	ㅈ (J)	ㅊ (CH)	ㅋ (K)	ㅌ (T)	ㅍ (P)	ㅎ (H)
아 (a)	가 Ga	나 Na	다 Da	라	마	바	사	자	차	카	타	파	하
야 (ya)	가 Gya	나 Nya	다 Dya	라	마	바	사	자	차	카	타	파	하
어 (eo)	거 Geo	너 Neo	더 Deo	러	머	버	서	저	처	커	터	퍼	허
여 (yeo)	겨 Gyeo	너 Nyeo	더 Dyeo	려	머	버	서	저	처	커	터	퍼	허
오 (o)	고 Go	노 No	도 Do	로 Ro	모	보	소	조	초	코	토	포	호
요 (yo)	교 Gyo	노 No	도 Dyo	료	묘	보	쇼	조	초	코	토	포	호
우 (u)	구 Gu	누 Nu	두 Du	루	무	부	수	주	추	쿠	투	푸	후
유 (yu)	규 Gyu	뉴 Nyu	듀 Dyu	류	뮤	부	슈	주	추	큐	튜	퓨	휴
으 (eu)	그 Geu	느 Neu	드 Deu	르	므	브	스	즈	즈	크	트	프	흐
이 (i)	기 Gi	니 Ni	디 Di	리	미	비	시	지	치	키	티	피	히

例えば

ㄷ (D) + 아 (A) = 다 (Da)

ㄹ (R) + 오 (O) = 로 (Ro)

母音のハングル表記の ○ い 部分に、子音の記号を入れていき、完成した文字を作っていく。